

## 熊本市の政令市移行の必要性

熊本県では、以下の観点から、熊本市の政令市移行は必要であると考えています。

住民に最も身近な市町村に権限と財源を移譲するという地方分権推進の観点から、政令市は、現在の地方自治制度の中では最も充実した基礎自治体というべきものであり、移行を目指した取り組みは、地方分権の大きな流れに沿うもの。

今後、平成23年の九州新幹線鹿児島ルートの特快全線開通により都市間競争の一層の激化が予想される中で、県都である熊本市が政令市の移行に伴う権限等の拡大を生かし、都市圏の社会資本整備に向けた取り組みを進めること等により、九州の拠点としての機能がさらに高まり、県内の経済活性化や県土全体の発展に資することが期待される。

こうしたことに加え、道州制の議論の高まり等を踏まえれば、熊本市の政令市移行は必要である。

また、この考え方は、平成18年5月に策定した「熊本県市町村合併推進構想（第1次）」にも明記しています。

参考：「熊本県市町村合併推進構想（第1次）」〔14ページ〕

- 自主的な市町村の合併の推進に関する基本的な考え方
- 3 本県における市町村の望ましい姿
- (3) 市町村の望ましい姿